

在宅医療・介護連携推進事業 実施状況

事業内容	(ア)地域の医療・介護の資源の把握	(イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	(ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援	(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援	(カ)医療・介護関係者の研修	(キ)地域住民への普及啓発	(ク)在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
具体的内容	地域の医療・介護事業者等の所在地、連絡先、機能等の把握とリストまたはマップの作成と活用	地域の医療介護関係者が参画する会議の開催。連携の現状と課題の抽出対応策の検討	地域の医療・介護関係者の協力を得て、切れ目なく在宅医療と介護が一体的に提供される体制作り	情報共有ツール(医療介護の連携シート、ICT)の整備	在宅医療と介護連携を支援する専門相談窓口	多職種が連携するためのグループワーク等の研修	地域住民の在宅医療・介護連携の理解を促進する。	複数の関係市町村が連携して、広域連携に必要な事項について協議
実施有無	○	○	○	○	×	○	○	×
現在の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・医療介護連携推進会議(H28.5.31)にて、情報の整理および関係者での情報共有を目的とした在宅医療介護マップの内容について検討。 ・一般市民対象に今年度中に作成予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H25年度から開催している「医療介護連携会議」において、医療介護連携上の課題と対応策について検討している。 ・課題の拾い上げや対応策については、医師会、介護保険事業者の代表者「連携推進員」がパイプ役となり、検討している。 ・課題に応じ、多職種との会議開催。 ・全体への周知の場として「医療介護連携会議(全体会)」を開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旭匠瑳医師会による在宅24時間支援システムの取り組みがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療介護連携会議の中で、情報共有を目的とした「医師とケアマネジャー連携シート」「状態変化時対応シート」を作成している。 ・今年度は多職種が共有できる「多職種間情報共有シート」作成とこれまで作成したシートの見直しを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置場所について今後検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H25年度研修「血圧の変化時の対応」「からだを見る時のポイント」 ・H26年度研修事例検討会「どうすればこのケースを受け入れられるか」 ・H27年度研修「匠瑳市の目指す医療と介護の連携」 ・H28年度研修「情報共有について」グループワーク ・H29年度は、連携推進員にアンケートを実施し、内容を検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「在宅ケアフォーラム」の開催により、市民に健康増進、介護予防、在宅ケアの効果的な情報の普及啓発を行っている。 主催 地域ケア推進会 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域連携のため、今後、近隣市町と検討していく必要がある。